



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社 大谷工業

上場取引所 東

コード番号 5939 URL <https://www.otanikogyo.com>

代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 鈴木 和也

問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役 （氏名） 中澤 忠彦 TEL 03-3494-3731

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	1,793	△10.7	80	△26.4	74	△33.8	55	△35.1
2026年3月期第1四半期	2,007	2.8	109	△40.0	111	△39.4	84	△34.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	70.74	—
2026年3月期第1四半期	108.91	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	7,837	4,461	56.9
2026年3月期	7,626	4,406	57.8

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 4,461百万円 2026年3月期 4,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	30.00	30.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,780	△2.5	200	7.4	200	10.2	140	11.8	179.70
通期	7,975	6.0	385	△5.0	370	△2.7	260	△12.5	333.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	780,000株	2026年3月期	780,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	941株	2026年3月期	941株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	779,059株	2026年3月期1Q	779,171株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要があります。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要があります。

当社の主要な取引先である電力業界では、データセンター等の新增設の影響もあって、電力需要は見込まれるものの、人件費や材料費の高騰により自発工事は圧縮傾向となっています。

建設業界においても都心の再開発を中心とする大規模案件や大型物流施設の建設など建築需要は依然として高い状態が続いておりますが、人手不足や建設コストの見直しによって、工期の順延や計画の見直しが起こっている状況となっております。

当社はこのような状況の中、当第1四半期累計期間の売上高は1,793百万円と前年同四半期比214百万円(10.7%)の減少となりました。

利益面については、売上総利益が358百万円と前年同四半期比49百万円(12.2%)の減少、営業利益は80百万円と前年同四半期比28百万円(26.4%)の減少、経常利益は74百万円と前年同四半期比37百万円(33.8%)の減少、四半期純利益は55百万円と前年同四半期比29百万円(35.1%)の減少となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電力通信部門

電力・通信関連では、自発工事は圧縮傾向ではありますが、劣化電柱の建替等は計画的に進んでおります。

鉄塔関連では、電力向けの納入について計画通り進んでおりますが、フェンス工事等の特品については受注が低調であったため、今後、販売強化の取組を進めてまいります。

新たな生産拠点として建設した富山呉羽工場では、製造部門の一部工程を移行し、更なる生産の合理化・効率化を進めておりますが、工場建設による減価償却費等の製造経費が増加しております。

この結果、売上高は1,194百万円と前年同四半期比47百万円(3.8%)の減少となり、セグメント利益は138百万円と前年同四半期比43百万円(24.0%)の減少となりました。

② 建材部門

スタッド関連においては、大型再開発物件が本格化するなど回復の兆しはあるものの、建設コスト高騰や労働環境の変化、人手不足等の要因によって、全体的に工期の順延や、計画の見直しが継続しております。

この結果、売上高は598百万円と前年同四半期比167百万円(21.8%)の減少、セグメント利益は26百万円と前年同四半期比15百万円(37.8%)の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ210百万円増加し7,837百万円となりました。これは、主に、現金及び預金267百万円、棚卸資産59百万円の増加と、売上債権150百万円の減少によるものです。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ156百万円増加し3,376百万円となりました。これは、主に未払費用88百万円、未払法人税等44百万円の増加と、仕入債務31百万円の減少によるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ54百万円増加し4,461百万円となりました。これは、主に四半期純利益55百万円の計上による増加と、配当金23百万円の支払によるものです。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.26倍と良好な水準にあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,222,598	1,490,091
受取手形、売掛金及び契約資産	1,180,122	1,007,896
電子記録債権	460,289	481,520
商品及び製品	877,245	905,193
仕掛品	854,132	897,116
原材料及び貯蔵品	281,402	270,220
未収消費税等	87,893	60,095
その他	31,948	41,915
貸倒引当金	△3,764	△3,600
流動資産合計	4,991,867	5,150,449
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,039,400	1,030,101
機械及び装置（純額）	613,765	621,760
土地	432,902	432,902
リース資産（純額）	14,295	13,462
その他（純額）	147,664	141,775
有形固定資産合計	2,248,028	2,240,002
無形固定資産	26,097	29,162
投資その他の資産		
投資有価証券	222,289	256,367
繰延税金資産	54,935	78,646
その他	83,630	82,880
投資その他の資産合計	360,855	417,894
固定資産合計	2,634,981	2,687,060
資産合計	7,626,849	7,837,509

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	477,516	471,191
電子記録債務	713,540	688,440
短期借入金	248,000	248,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
リース債務	37,722	42,801
設備関係未払金	74,898	83,950
未払費用	213,964	302,464
未払法人税等	9,141	54,107
その他	41,560	92,267
流動負債合計	1,866,345	2,033,222
固定負債		
長期借入金	325,000	325,000
退職給付引当金	452,267	450,204
役員退職慰労引当金	20,748	21,402
リース債務	83,773	69,749
長期預り保証金	100,026	102,837
長期末払金	15,830	11,190
長期設備関係未払金	350,359	356,897
その他	5,975	5,975
固定負債合計	1,353,979	1,343,256
負債合計	3,220,325	3,376,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	3,421,765	3,453,505
自己株式	△3,251	△3,251
株主資本合計	4,295,685	4,327,426
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,838	133,604
評価・換算差額等合計	110,838	133,604
純資産合計	4,406,524	4,461,031
負債純資産合計	7,626,849	7,837,509

(2) 四半期損益計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,007,460	1,793,120
売上原価	1,598,928	1,434,579
売上総利益	408,531	358,541
販売費及び一般管理費	298,645	277,650
営業利益	109,886	80,890
営業外収益		
受取配当金	1,914	2,801
業務受託料	834	754
雑収入	557	336
営業外収益合計	3,307	3,892
営業外費用		
支払利息	1,284	10,712
雑損失	0	0
営業外費用合計	1,284	10,712
経常利益	111,909	74,070
特別利益		
固定資産売却益	2,049	—
特別利益合計	2,049	—
特別損失		
固定資産除売却損	2,746	1,147
特別損失合計	2,746	1,147
税引前四半期純利益	111,212	72,923
法人税、住民税及び事業税	21,615	52,458
法人税等調整額	4,736	△34,646
法人税等合計	26,351	17,811
四半期純利益	84,860	55,112

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	111,212	72,923
減価償却費	38,466	57,820
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△164
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28,169	△2,063
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△59,992	654
受取利息及び受取配当金	△1,914	△2,801
支払利息	1,284	10,712
固定資産除売却損益(△は益)	696	1,147
売上債権の増減額(△は増加)	△31,142	150,994
棚卸資産の増減額(△は増加)	16,100	△59,749
仕入債務の増減額(△は減少)	△254,995	△31,425
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	27,797
その他	△70,208	96,420
小計	△278,656	322,265
利息及び配当金の受取額	1,914	2,801
利息の支払額	△2,344	△9,840
法人税等の支払額	△69,830	△724
営業活動によるキャッシュ・フロー	△348,917	314,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△376,165	△1,347
有形固定資産の売却による収入	2,050	—
投資有価証券の取得による支出	△358	△375
出資金の回収による収入	—	500
預り保証金の受入による収入	2,674	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△371,798	△1,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△22,467	△21,596
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△348	△8,944
長期設備関係未払金の返済による支出	△811	△15,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,626	△45,785
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△744,342	267,492
現金及び現金同等物の期首残高	1,910,888	1,222,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,545	1,490,091

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,241,390	766,070	2,007,460
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,241,390	766,070	2,007,460
セグメント利益	181,591	42,186	223,778

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	223,778
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△113,891
四半期損益計算書の営業利益	109,886

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,194,216	598,903	1,793,120
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,194,216	598,903	1,793,120
セグメント利益	138,014	26,244	164,258

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	164,258
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△83,368
四半期損益計算書の営業利益	80,890

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。